



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成29年12月14日 第63号

発行者：校長 伊藤 俊

～2年生修学旅行その2～ ～晩秋の都路～東京駅～仙台駅～石巻～



〔12月13日午後自主研修東願寺〕〔12月14日朝北野天満宮合格祈願後石巻に向け出発〕

12月11日（月）から始まった石垣先生を団長とする西高2年生修学旅行隊、本日12月14日（木）に石巻に戻ります。3年生の皆さんは去年を懐かしく、1年生の皆さんは来年を楽しみに思いますね。2年生が旅行中、技師の北條さんと榎戸さんが2年生使用の2階をワックスがけしてくれました。2年生の清掃分担区も他学年が手伝ってくれています。学校は3学年そろってはじめて成り立つものです。来週月曜日、西高は、たくさんのお土産話を持って帰校する2年生の生徒の皆さんと先生方の元気な姿を待ちます。

○12月14日（木）朝の定期連絡より

2年4組 岩浪 巳奈 さん

本日、修学旅行3日目の自主研修は各班京都や大阪に向かい、歴史・文化を学びました。私の班は伏見稲荷大社や清水寺などを参拝し、京都の町の風情を感じました。私は京扇子や簪などを買いました。他の班も怪我なく満喫でき安全に1日を過ごすことができました。大阪へ向かった班は現地の人たちのインタビューを通して大阪の人々の人柄の良さに触れることができたようです。

皆、時間に遅れることなく有意義に過ごすことができて良かったです。

## ～アクティブラーニング世界～ ～「寛容さ」と「自分」～

平成27年のOECD（経済協力開発機構）によるPISA調査（協同問題解決能力調査）の結果によると、日本は調査参加国中第2位、OECD加盟国では第1位でした。

協同問題解決能力というのは、「協働できる力」、アクティブラーニングで言えば「自主的・対話的で深い学び」の「対話的」のことを言います。西高では「学び合いの授業」と呼んでいます。学び合うことで問題を解決する力は、グローバル化と言われる現代を生き抜くためには必要で、その力が世界一であれば嬉しいことだと思うのですが、そんな簡単に喜んではいけないという意見もあります。それは、協働する他者がどういう相手かが問題だということです。

小学校から、価値観や文化的な背景を同じくする日本人同士での話し合いの授業を行い、教師の用意した正解に異を唱えたり、正論にこだわれば「KY（空気読めない）な人」と敬遠されるので、チームとしての和、場の雰囲気や大事にする日本人だからこその結果だということです。世界に目を向ければ、この日本人の美德が必ずしも有効とは言えないということです。

皆さんがこれから生きる「グローバル社会」では、歴史的・文化的・宗教的な背景が異なる人々と対話して協働することになります。同じ国民同士の学び合いを前提とする日本の生徒が、他国の人々との協働ができるのか。今回の結果は逆に心配な結果だということです。

ペアやグループでの活動が苦手な人がいてもいいのです。他と意見が違っていいのです。みんな仲良く同じ目標に行くことが良いことだとは限りません。協調も大切ですが、まずはしっかりと自分を持つことです。皆さんが生き抜くグローバル社会は、「仲よしこよし」のような世界ではなく、理解し合えない同士が、お互い逞しい言語を用いて、ぎりぎりのところで決定的な対立をさせて、妥協するのではなく「折り合い」をつけながら生き抜く社会だと思われたいです。ですから、本校は皆さんにそのきっかけにと思い「国際高校生フォーラム」を企画したのです。英語のプレゼンに真剣に耳を傾ける。単語ひとつ、フレーズひとつ分かった時の感動。自分の英語が通じた時の感激。日本伝統の武道や茶道を英語で伝えなければならない時の責任。命に関わる避難を英語で伝えなければならない時の緊張。一つ一つのぎりぎりの場面が皆さんの成長につながっています。

学び合いの授業で本当に身につけてほしい力は、同調圧力に順応する力ではありません。価値観の違う他者を認める「寛容さ」と、これだけは譲れないという「自分」を持つことです。

皆さんには無限の可能性が 있습니다。その可能性を信じて頑張れ西高生！私たちはいつでも皆さんを応援します。